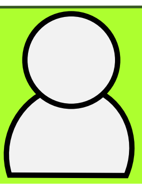
数字でみる福井大学のいま

～ 学生のすがた特集号 ～

これまでの号では、学生の思いや考えをコラム「学生のすがた」として紹介してきました。第7号ではこれを特集して、みなさんに関する新たな数字をお届けします。
入学の頃に思い描いていた夢や希望を思い出すなど、これまでの福井大学での学生生活を振り返り、より良い未来のきっかけにしてください。



vol.7（2025年 7月）
（発行）高等教育推進センター教学IR部門

○ 入学した時[0]

福大の高校生向けイベントに参加した
25%[0]

キャンパスを初めて訪れるタイミングが受験や入学時だった学生が半数を超えるんだよ

ボランティア活動がしたい
68%[0]

福井県の歴史や伝統・文化を知りたい
52%[0]

ボランティアの機会や、福井の歴史や文化を学ぶ講座は、大学、県、市が主催するものがたくさんあるよ。積極的にアンテナを広げよう！大学が主催する伝統文化に関するイベントに参加してますか？

福大での学びが楽しみ
97%[0]

大学生活で気になること[0] TOP3

1位：授業についていけるか
2位：良い成績を取れるか
3位：勉強と課外活動・アルバイトの両立

色んな心配事を“正しい情報”で解消できていますか？

○ 入学してから 半年間の変化[0][1]

【 入学時 】【 半年後 】

部・サークル活動
したい 95%[0] → している 69%[1]

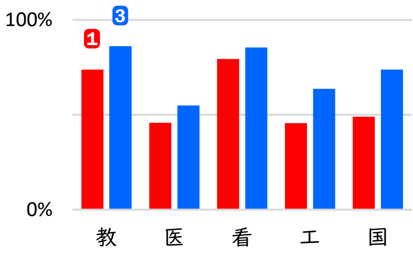
アルバイト
したい 97%[0] → している（日平均 1時間以上）66%[1]
していない 18%[1]

リーダシップの能力が増えた
入学時「リーダシップが取れない」と思っていた416名のうち 半年後に「増えた」と実感している割合
29%[1]

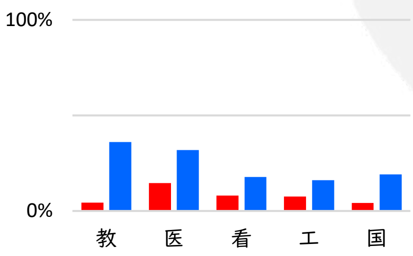
プレゼンテーションの能力が増えた
入学時「プレゼンテーションが不得意」と思っていた468名のうち 半年後に「増えた」と実感している割合
53%[1]

○ 2022年度入学生の2年間での変化[1][3]

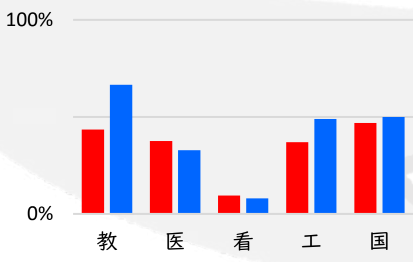
コミュニケーション能力が増加した



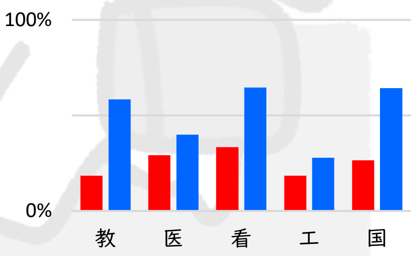
単位に関係のない自主的な勉強会に参加した



課題を期限内に提出できなかった



教員に親近感を感じた



○ いまの 福大生のすがた[1][3]

問題解決能力がついた
64%[1] 77%[3]

異文化に関する知識が増えた
46%[1] 47%[3]

地域社会の問題を理解する力がついた
43%[1] 49%[3]

「数字でみる福井大学のいま」を見たことがある
文京C 54%[3] 松岡C 23%[3]

授業の全体的な質に満足
49%[1] 48%[3]

学生同士に一体感がある
42%[1] 37%[3]

週に16回以上食事をする
自宅通学 81%[1] 69%[3]
一人暮らし 60%[1] 52%[3]

福井大学での大学生活に総合的に満足している
76%[1] 71%[3]

専門分野や学科の知識が増えた
89%[3]

時間を効果的に使えた
61%[3]

他の学生との友情が深まった
78%[3]

いろいろなアンケートを通じて大学がよくなってきている
53%[3]

施設のお改修や科目の組み立てなど大学の改善に活かされているよ

社会や国から様々なアンケートの要請があります。母校をよくするためにみんなの回答が必要です。よろしくお願いします。

0 入学時調査（2024、2025年 4月） 回収率98.2%
1 在学生調査 1年生版（2022、2023、2024年 11月） 回収率92.3%
3 在学生調査 3年生版（2022、2023、2024年 11月） 回収率83.8%

バックナンバー

この壁新聞へのご意見、ご感想は
高等教育推進センター教学IR部門（ir-adm@ml.u-fukui.ac.jp）まで